※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

**事業番号** 新32 － 0007

# 平成３１年度行政事業レビューシート（　　内閣府　　）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 地方へのサテライトキャンパス設置等に関するマッチング支援事業 | | | **担当部局庁** | 政策統括官（経済財政分析担当） | **作成責任者** |
| **事業開始年度** | 平成３２年度 | **事業終了（予定）年度** | 終了予定なし | **担当課室** | 地方創生推進室 | 参事官　山下　洋 |
| **会計区分** | 一般会計 | | | | | |
| **根拠法令**（具体的な条項も記載） | － | | | **関係する計画、通知等** | 「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2018改訂版）」（平成30年12月閣議決定） | |
| **主要政策・施策** | 地方創生 | | | **主要経費** | その他の事項経費 | |
| **事業の目的**（目指す姿を簡潔に。3行程度以内） | 東京圏の大学等の地方へのサテライトキャンパスの設置は、東京圏・地方圏の学生の対流や学生の地元定着の促進、新たな地域の拠点等の役割があり、地方創生にとって大きな効果が期待される。 | | | | | |
| **事業概要**（5行程度以内。別添可） | サテライトキャンパスの設置に向けた地方公共団体と大学等との連携の促進のため、両者が共有できるシステムを運用する。<br>このシステムに、地方公共団体が求めている分野や可能な支援内容、大学側の構想等、双方のニーズやマッチングに必要な情報を収集・集約する。<br>（令和元年度内閣官房予算において、「マッチングシステムポータルサイト（仮称）」を構築中。）<br><br>地方へのサテライトキャンパス設置に関する調査研究事業（内閣官房0012） | | | | | |
| **実施方法** | 委託・請負 | | | | | |

**予算額・執行額**（単位：百万円）

| | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度要求 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 予算の状況 | 当初予算 | － | － | － | － | 10 |
| | 補正予算 | － | － | － | － | |
| | 前年度から繰越し | － | － | － | － | － |
| | 翌年度へ繰越し | － | － | － | － | |
| | 予備費等 | － | － | － | － | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 執行額 | | | | | | |
| 執行率（%） | | － | － | － | | |
| 当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（%） | | － | － | － | | |

**平成31・32年度予算内訳**（単位：百万円）

| 歳出予算目 | 31年度当初予算 | 32年度要求 | 主な増減理由 |
|---|---|---|---|
| 地方創生支援委託費 | － | 10 | |
| 計 | － | 10 | |

**成果目標及び成果実績（アウトカム）**

| 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 中間目標 － 年度 | 目標最終年度 － 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「マッチングシステムポータルサイト（仮称）」の利活用 | 「マッチングシステムポータルサイト（仮称）」へのアクセス数（目標は対前年度増） | 成果実績 | 件 | － | － | － | － | － |
| | | 目標値 | 件 | － | － | － | － | － |
| | | 達成度 | % | － | － | － | － | － |

**根拠として用いた統計・データ名（出典）**：「マッチングシステムポータルサイト（仮称）」のアクセス数

**活動指標及び活動実績（アウトプット）**

| 活動指標 | | 単位 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度活動見込 | 32年度活動見込 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「マッチングシステムポータルサイト（仮称）」の掲載数（累積） | 活動実績 | 件 | － | － | － | － | － |
| | 当初見込み | 件 | － | － | － | － | 350 |

**活動指標及び活動実績（アウトプット）**

| 活動指標 | | 単位 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度活動見込 | 32年度活動見込 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「マッチングシステムポータルサイト（仮称）」への問合せ数 | 活動実績 | 件 | － | － | － | － | － |
| | 当初見込み | 件 | － | － | － | － | 120 |

**単位当たりコスト**

| 算出根拠 | | 単位 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度活動見込 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| X＝「マッチングポータルサイト（仮称）」稼働日数／Y＝「マッチングポータルサイト（仮称）」運営経費 | 単位当たりコスト | 千円 | － | － | － | － |
| | 計算式 | X/Y | － | － | － | － |

## 事業所管部局による点検・改善

| | 項　目 | 評　価 | 評価に関する説明 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 国の重要施策である地方創生の推進において、地方への新しいひとの流れをつくる一環となるサテライトキャンパスの設置の推進のために必要な調査、マッチング支援のためのシステム構築及び運用は、社会のニーズを的確に反映している。 |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 国の重要施策である地方創生の推進にかかる政策の策定、推進に必要な調査を行い、大学等と地方公共団体を繋ぐシステム構築及び運用は国費をもって優先的に実施すべき事業である。 |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 地方へのサテライトキャンパス設置は、学生の地元定着の促進や、新たな地域の拠点となることが期待されていることから、本事業は、政策目的の達成に向けて、必要かつ適切な支援事業である。 |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | - | |
| | 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | - | |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | - | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | - | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | - | |
| | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載） | - | |
| | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | - | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | - | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | - | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | - | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載） | - | |

| 所管府省名 | 事業番号 | 事業名 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| | | |
|---|---|---|
| 点検・改善結果 | 点検結果 | |
| | 改善の方向性 | |

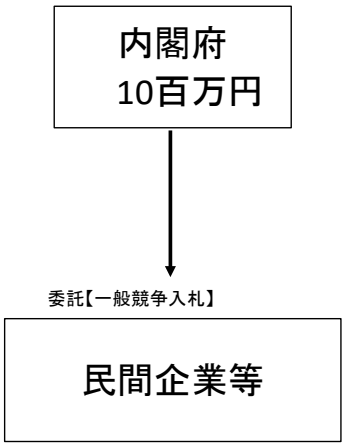
**外部有識者の所見**

**行政事業レビュー推進チームの所見**

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

**備考**

| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | |
| 平成26年度 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | |
| 平成30年度 | 内閣官房 （ 新30 － 0006 ） | | | | | | |

**資金の流れ**
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。